

共通教養科目カリキュラムマップ(平成31年度入学2年次科目)

ディプロマ・ポリシーに示す共通到達目標(学修成果)												
観点		到達目標(学修成果)										
1. いのちの平等、尊厳性への気づき		あらゆる存在が個人の価値観を超えて絶対的な尊厳性をもって存在することを理解している。										
2. 生かされていることへの感謝		生かされていることへの感謝の心を持ち、他を生かす活動を実践することができる。										
3. 倫理観		人として守り行うべき道について考え、それを実践することができる。										
4. 知識・技能		社会生活を営む上で必要な幅広い知識を持ち、職業人として必要な技能を身につけ活用することができる。										
5. 論理的で柔軟な思考と判断力		先入観や既成観念等に縛られず、論理的かつ柔軟に思考し判断することができる。										
6. 自己表現力		自分の意見や考えを状況に応じた手段で適切に表現することができる。										
7. 主体的な行動力		責任感・使命感をもって主体的に行動することができる。										
8. 他者との協働力		社会を構成する一人の人間として、異なる価値観や背景を理解した上で連携・協働することができる。										
カテゴリー	授業科目	授業概要	科目の到達目標	到達目標(学修成果)の観点番号								
				凡例 ◎ DP達成のために特に重要な目標 ○ DP達成のために重要な目標 (一つの到達目標に◎と○一つずつを原則)								
				1	2	3	4	5	6	7	8	
共通教養科目	法学(日本国憲法) (子ども学科)	篠田英朗監修「日本国憲法ドリル」辰巳出版をテキストとして、授業プリントを中心に学習する。	1. 日本国憲法がどのように成立したか理解する。					◎		○		
			2. 日本国憲法の内容を大日本国憲法の内容と比較しつつ理解する。				◎		○			
			3. 憲法の規定が私たちの暮らしとどのように結びついているか理解する。	◎			○					
	法学(日本国憲法) (キャリア育成学科)	憲法の意義と歴史について学び、現代社会における様々な問題について憲法的な視座からの課題の発見と解決を目指す。	1. 憲法の意義と歴史についての基本的な知識を修得し、国民主権、基本的人権を尊重する態度が身につくこと。	◎							○	
			2. 現代の社会において生じている様々な問題について、多角的な視野から問題の背景や課題を考察する。				○	◎				
			3. 自分の意見を表現し、他者との比較(討論)を通じて、論理的な思考方法が身に付き、課題の作成・発表ができる。						○		◎	
	暮らしと環境	地球環境とわたしたちの生活とのつながりについて学び、持続可能な社会について考える	1. 社会人として必要な環境学の知見を得る。				◎	○				
			2. 様々な地球環境問題の概要やその原因、問題間のつながりについて理解する。				○	◎				
			3. 地球環境問題と持続可能な社会について自分なりの考えを述べることができる。						◎		○	
	スポーツと健康(講義) (キャリア育成学科)	運動・スポーツの文化的特徴、学び方、スポーツライフの設計について理解を深め、自身のスポーツへの関わりや健康増進につなげていくための授業。 本授業では、各回のテーマにあったグループワークを設け、自身の考えを持ち、発言することや、他者の考えも踏まえて討論することを学ぶ。	1. 運動・スポーツの文化的特徴、学び方やスポーツライフの設計について理解している。				◎	○				
			2. グループワークの中で自身の考えを持ち、発言することができる。						◎		○	
			3. 課題の作成・発表において、適切な課題設定、作成、発表ができる。						◎	○		
	スポーツと健康(実技) (子ども学科)	運動・スポーツの実技を通して、自身のスポーツへの関わりや、健康増進につなげていくための授業。 本授業では各回の実技内容、状況に合わせてルールを設定し進めていく。状況に合わせて運動・スポーツを楽しむ方法を学ぶ。	1. 実技に参加し、各競技の特徴を理解している。			○	◎					
			2. 各回にあった内容を提案し、実施することができる。						◎		○	
			3. 自身の健康増進について考えをまとめ、レポートを作成することができる。				◎		○			